

お詫びと訂正

『2023 入試対策医学部面接ノート』で p56 と p57 の内容が重複しておりました。
ここにお詫びし、訂正いたします。正しいp56 は下記の通りとなります。

質問項目 63 [社会医学などに関する質問]

●新型コロナウイルスのような、感染力の強い新型感染症による「医療崩壊」に対する解決策を述べよ。

回答の基本方針

まず「医療崩壊」が何を指すのか、しっかりと示しましょう。医療崩壊とは、「感染症の患者の病床不足や医療機器の不足、医療従事者の不足などによって、通常の医療行為も含めて医療行為が提供できなくなってしまう状態」をいいます。次に解決策ですが、病床や人手といった医療資源を潤沢に用意すればいいのかもしれませんが、コストの面で難しい場合も出てきます。医療資源の必要性を述べつつも、それ以外の「外出の自粛」や「予防の徹底」といった実際に行われている対処法を念頭に、特に自分が重要だと思えるものを、具体的に答えるのが良いと考えられます。「医療機関以外の設備利用」「医療関係者の保護」などを述べてもいいでしょう。なお、コロナ禍の経緯を見れば、「外出の自粛」や「予防の徹底」がいかにかに難しいかが分かります。面接官から、そのことを指摘されるかもしれません。その際に、政府の対応の不備や人々の危機意識の弱さを述べることも可能ですが、あまり建設的な発言ではありません。そういう問題があることを認めつつ、予防意識の徹底が最終的には意味を持つというように回答したほうがいいでしょう。

回答例

新型コロナウイルスのような、感染力の強い新型感染症による医療崩壊とは、新型感染症に感染した患者が急激に増加したために、感染者用の病床や医療機器が不足し、また対応する医療従事者も不足するために、新型感染症患者への対応だけでなく、通常の医療行為全般について、安定的・継続的な医療サービスが提供できなくなる状態をいいます。病床や人手といった医療資源の不足が医療崩壊を招いている以上、医療資源の十分な準備が有効なのは当然ですが、医療に係る社会コストは膨大であり、それ以外の解決策も模索しなければいけません。私は、国民全体の予防意識の向上が重要だと考えます。感染は、マスクの正しい着用・手洗いがいいこまめな消毒で十分に予防効果がありますが、毎日の細かな行為は面倒でもあり、予防意識が欠けていると、ついおろそかになってしまう

からです。ただ、予防意識向上を個人に委ねても十分な効果は期待できません。企業や学校などが個人を主導する形で予防の意識向上に努めることが必要だと考えます。一定時間ごとに社内や学校全体でこまめな消毒を行い、マスク着用や手洗いなども企業や学校が部課単位クラス単位で確認しあう、退社後・下校後の行動についても、不要不急の行動を慎むように申し入れをすることも必要でしょう。社会人の退社後の行動を会社が拘束するのは問題だともいえますが、行動を慎むよう申し入れをすることは許される状況かと思えます。なお、コロナ禍の経緯をみれば、人々の意識を高めることは非常に難しいことも明らかとなりました。会社や学校単位での取り組みも不十分なものでした。しかし、最終的に実効性を持つのは人々の予防意識の向上しかなく、地道な取り組み以外にはないと考えます。それが結局は罹患者を減らし、医療崩壊を防ぐことにつながると考えます。